

平成26年1月7日
在トルクメニスタン日本国大使館

海外安全対策情報（平成25年第10月～12月期）

1. 治安情勢及び一般犯罪の傾向

トルクメニスタンでは犯罪発生状況等の統計は公表されていません。しかし、国内では、凶器を使用した強盗致傷事件、スリ、薬物関連犯罪等が発生しているとの風評がある他、夜間（午後11時以降）の外出は、トルクメニスタンの政府当局に届け出た宿泊先に滞在していないとの理由のみで、治安機関に身柄を拘束される可能性も排除されないことから、不要不急の外出は避ける必要があります。

2. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

トルクメニスタンでは犯罪統計が公表されていないため、以下の内容は、トルクメニスタンに駐在する外交団や国際機関の治安担当者等から収集した情報に基づくものです。

（1）強盗

外国人や外資系企業に勤務するトルクメン人が居住する住宅に、政府の役人等を装って立入り、凶器で脅迫して金庫を開けさせて金品を強取する手口が多く、ほとんどの事件において被害者に傷害を負わせるのが特徴とされています。

（2）殺人

確認されていません。

（3）強姦

確認されていません。

3. テロ・爆弾事件発生状況

確認されていません。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

確認されていません。

5. 対日感情

トルクメニスタンに住む日本人の数は極めて少数ですが、国内には、日本車や高品質な日本製電化製品が広く普及しており、トルクメニスタン国民の対日感情は比較的良好です。

6. 日本企業の安全に係わる諸問題

特にありません。

7. 日本人安全対策のためにとられている具体的措置

在トルクメニスタン日本国大使館は、在留邦人を対象にした治安情勢（周辺国の情勢を含む）に関する協議会を定期的の実施し、情報の共有や注意喚起に努めています。